

情報処理安全確保支援士

意味ないは本当か？

5つの批判理由と7つのメリットを比較

合格率 20% の国家資格。年収・転職・フリーランスへの影響を解説



維持費高いし意味ないんでしょ？

事実で判断してから決めろ



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。



● 「意味ない」と言われる主な批判

1

独占業務なし

名称独占のみ。セキュリティ業務は無資格でも可能

2

維持費が高い

3年間で約14～16万円の登録・講習費用が必要

3

社内知名度が低い

非IT部門の上司や経営層には価値が伝わりにくい

4

未登録者が多い

合格者の多くが維持費負担を理由に登録を見送る

5

実務なしでは弱い

資格単体では即戦力評価は難しく実務経験との掛け算が必須

● 批判の核心：3つの構造的問題



業務独占がない

弁護士・医師と異なり名称独占のみ。業務は無資格でも可能



3年15万円の費用

登録費＋年1回オンライン講習＋3年に1回実践講習が必要



実務なしでは弱い

資格単体では即戦力評価は困難。実務経験との掛け算が必須

3つとも正当な批判。活かし方次第でコスト以上のリターンになる



● それでも取るべき 7 大メリット

1

年収アップの実績

登録セキスペ歓迎求人の年収レンジは 600 万～ 1,300 万円

2

必置化の先行者優位

政府の 2030 年 5 万人目標で先行取得が戦略的優位に

3

転職市場での差別化

官公庁入札・大手 SIer 昇格条件に登録セキスペ要件が増加

4

高度 IT 試験の免除

合格後 2 年間、6 つの高度試験の午前 I 試験が免除される

5

フリーランス単価向上

独立後の月額単価は中央値 92.5 万円。官公庁案件の入札資格にも

6

社内ポジションの確立

CSIRT 立ち上げ・CISO 候補として社内唯一の専門家ポジション

7

希少性による信用力

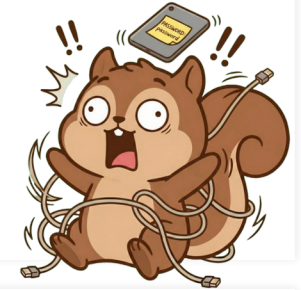
合格率 20% の IPA スキルレベル 4。IT 系唯一の士業登録制度

● 年収アップの実績データ



転職求人の年収レンジ

600 万～ 1,300 万円（登録セキスぺ歓迎の公開求人）



フリーランス月額単価

中央値 92.5 万円（50 ～ 180 万円）。年収換算 1,000 万円
超も



投資対効果

3 年維持費 15 万円は年収アップ幅と比べれば確実に回収できる

● 必置化トレンドと先行者メリット



政府の登録者目標

2030 年までに 5 万人。現在約 2.4 万人で目標の半数未達



SCS 評価制度の整備

サプライチェーン強化でセキュリティ人材配置が制度化へ



先行者優位

必置化が実現した時点で登録済みの人が圧倒的な優位に立てる



● 意味ある人・意味ない人の違い

取得を優先すべき人

セキュリティ専門に進む人

- ・ SOC ・ CSIRT ・ コンサルを目指す
- ・ 官公庁 ・ 大手 Sler 志望
- ・ フリーランス独立を計画中
- ・ CISO 候補として社内旗振り役

VS

急がなくてよい人

専門化の予定がない人

- ・ インフラ ・ 開発がメインで転向なし
- ・ 自己負担がキャリアプランに合わない
- ・ 活用の具体的イメージがない



判断の軸

「セキュリティを専門にする意志があるか」が唯一の判断基準

● 合格者のキャリア変化 3 パターン



転職で年収 100 万増

30 代インフラ E が専門企業へ転職。資格 + 実務の掛け算が評価



フリーランス単価増

40 代コンサルが独立後に月額単価が上昇。官公庁入札が奏功



社内 SE は変わらず

社内にセキュリティポジションなく評価に反映されず

資格は武器。能動的に活かす場を作ることが成果の分岐点



● 登録費用と 3 年サイクルの維持費



登録時の初期費用

登録免許税 9,000 円 + 登録手数料 10,700 円 = 約 2 万円



3 年間の維持費合計

オンライン講習 6 万 + 実践講習 8 万 = 約 14 ~ 16 万円



軽減見通し

みなし受講制度導入予定で実践講習 8 万円が免除される可能性あり

● 資格を活かすキャリアアップ戦略

転職・フリーランス活用



転職エージェント活用

特化型サービスで非公開・高単価案件にアクセス



フリーランス独立

3～5年実務後に独立。脆弱性診断で月100～160万円

社内ポジション確立



CSIRT 立ち上げ提案

未整備企業で旗振り役に。経営層へ予算提案



社内唯一の登録セキスペ

必置化実現時に圧倒的な社内ポジション優位性

実行が全て



● 合格率 20% の難易度と希少性



IT 唯一の登録制士業

IPA スキルレベル 4。IT 系国家資格で唯一の士業登録制度



合格率は約 20% で安定

春 19.0% ・ 秋 22.3%。受験者の 5 人に 1 人が合格



資格の本質的価値

難易度が高いからこそ合格者は市場で差別化できる希少人材になれる

● まとめ



独占業務なし・維持費高い・知名度低いの批判は事実。すべての人向けではない



セキュリティ専門でキャリアを築くなら年収・差別化・信用力でコスト以上のリターンを得られる



政府の 2030 年 5 万人目標・必置化整備が進む今、先行取得が最も合理的な戦略

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

